

PAT-NO: JP02000353224A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2000353224 A
TITLE: BAR CODE LABEL
PUBN-DATE: December 19, 2000

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
KATO, YOSHINORI	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
SHINEI SANGYO KK	N/A

APPL-NO: JP11165066
APPL-DATE: June 11, 1999

INT-CL (IPC): G06K019/06, G09F003/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a bar code label which can be prevented from being easily peeled due to the contact of a bar code part for a price tag with the other merchandise housing case or the like, and which can be easily peeled at the time of adhering the bar code part for a price tag to the price tag at the time of adhering a bar code to the merchandise housing case and the price tag of merchandise.

SOLUTION: A bar code label 1 is provided with a bar code part 11 for a case to be adhered to a merchandise housing case 3 and a bar code part 12 for a price tag to be adhered to a price tag 41 attached to merchandise 4, and perforation 13 is provided between the both parts. Moreover, a peeling sheet 2

is provided with notched lines 26 and 27 respectively at a position corresponding to the perforation 13 and a position corresponding to the end part of the bar code part 12 for a price tag.

COPYRIGHT: (C) 2000, JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-353224

(P2000-353224A)

(43) 公開日 平成12年12月19日 (2000. 12. 19)

(51) Int.Cl.⁷

識別記号

F I

テ-マコード*(参考)

G 0 6 K 19/06

G 0 6 K 19/00

A 5 B 0 3 5

G 0 9 F 3/00

G 0 9 F 3/00

S

審査請求 有 請求項の数 2 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平11-165066

(22) 出願日 平成11年6月11日 (1999. 6. 11)

(71) 出願人 594118420

新栄産業株式会社

東京都台東区寿3丁目19番8号

(72) 発明者 加藤 義則

東京都台東区寿3丁目19番8号 新栄産業
株式会社内

(74) 代理人 100079108

弁理士 稲葉 良幸 (外2名)

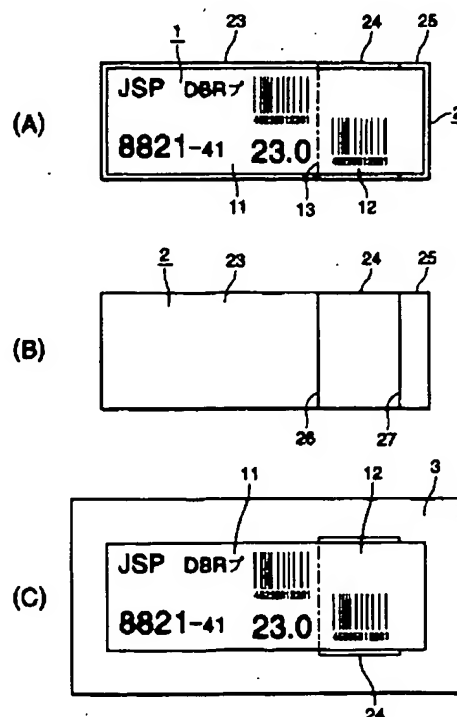
Fターム(参考) 5B035 AA00 BA06 BB01 BC00

(54) 【発明の名称】 バーコードラベル

(57) 【要約】

【課題】 商品収納ケースと商品の値札のそれぞれにバーコードを付す場合において、値札用バーコード部が他の商品収納ケースとの接触等により容易に剥がれることなく、且つ、値札用バーコード部を値札に貼り付ける際に簡単に剥がすことのできるバーコードラベルを提供する。

【解決手段】 本発明のバーコードラベル1は、商品収納ケース3に貼着するケース用バーコード部11と、商品4に付される値札41に貼着する値札用バーコード部12とを有するとともに、両者の間にミシン目13を設けている。更に、剥離紙2はミシン目13に対応する位置及び値札用バーコード部12の端部に対応する位置に切り込み線26、27を設けている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 裏面に粘着層を介して剥離紙を備えたバーコードラベルにおいて、前記バーコードラベルは商品収納ケースに貼着するケース用バーコード部と、商品に付される値札用バーコード部とを有するとともに、両者の間に切断線を設け、かつ、前記剥離紙は前記切断線に対応する位置及び前記値札用バーコード部の端部に対応する位置に切り込み線を設けたことを特徴とするバーコードラベル。

【請求項2】 前記ケース用バーコード部と値札用バーコード部に同一のバーコードデータを印刷したことを特徴とする請求項1に記載のバーコードラベル。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は商品管理に使用されるバーコードラベルに関する。

【0002】

【従来の技術】商品を取り扱う問屋、スーパーマーケット等の販売店はその商品を生産する製造業者に商品の発注をし、商品の在庫に応じて商品の仕入れをし、各販売店の在庫に応じて商品の出荷を行っている。商品を取り扱う販売店では商品の発注から商品の出荷までの流れの各段階において、その商品の種類、サイズ、色、品番等を管理する必要がある。

【0003】従来はこのような商品の管理をそれぞれの段階毎に管理用の帳面ないしは帳簿を備え、この帳面や帳簿を用いて管理を行っていたが、最近ではコンピュータを利用した商品管理が行われている。かかる商品管理においては、各商品のケースと値札のそれぞれに番号を付し、予め登録しておいた商品の番号と販売後回収した商品の値札に記されている番号を照合することにより商品の在庫を管理していた。

【0004】このような照合作業の効率化を図るため、従来では、商品のケースと値札のそれぞれに同一の識別情報を含むバーコードラベルを付していた。従来のバーコードラベルを図2(A)に示す。バーコードラベル1の表面には商品の品番、値段、サイズ、種類、色等の管理情報がバーコード形式で印刷されており、裏面には粘着層を介して剥離紙2に貼着している。また、バーコードラベル1は、ミシン目13を境にケース用バーコード部11と値札用バーコード部12に分割可能に構成されている。ケース用バーコード部11は商品のケースに貼り付ける部分であり、値札用バーコード部12は商品の値札に貼り付ける部分である。ケース用バーコード部11に印刷されているバーコードデータと値札用バーコード部12に印刷されているバーコードデータは同一である。

【0005】剥離紙2はミシン目13に対応して切り目23が形成されており、予め剥離部21及び22に分割されている。同図(B)は剥離紙2の裏面を図示したも

のである。ケース用バーコード部11は剥離部21に貼着しており、値札用バーコード部12は剥離部22に貼着している。

【0006】このようなバーコードラベル1を用いて商品ケース及び値札にバーコードを付す場合には、以下の手順で行う。同図(C)に示すように、剥離部21をケース用バーコード部11から剥離し、ケース用バーコード部11を商品収納ケース3に貼り付ける。値札用バーコード部12の裏面には剥離部22が貼着しているため、値札用バーコード部12が商品ケース3に張り付くことはない。そこで、ミシン目13を境に値札用バーコード部12をケース用バーコード部11から切り取り、剥離部22を値札用バーコード部12から剥離することで値札用バーコード部12を商品4の値札41に貼り付ける。これにより、商品収納ケース3と値札41に同一のバーコードを付すことができる。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】しかし、このようなバーコードラベルを用いると、値札用バーコード部12の端部が商品収納ケース3から遊離しているため、在庫管理上、他の商品収納ケースとの接触により容易に剥がれやすくなり、商品を取り扱う段階で剥がれてしまう問題があった。かかる問題を解決するべく、ケース用バーコード部11と値札用バーコード部12を予め分離しておき、商品収納ケース3と値札41のそれぞれにバーコードを付すことも考えられるが、商品収納ケース3と値札41に同一のバーコードを付さなければならない都合上、管理負担が大きくなり、効率的な商品管理を実現することはできない。

【0008】そこで、本発明は商品収納ケースと商品の値札のそれぞれにバーコードを付す場合において、値札用バーコード部が他の商品収納ケースとの接触等により容易に剥がれることなく、且つ、値札用バーコード部を値札に貼り付ける際に簡単に剥がすことのできるバーコードラベルを提供することを課題とする。

【0009】

【課題を解決するための手段】本発明のバーコードラベルは、裏面に粘着層を介して剥離紙を備えたバーコードラベルにおいて、商品収納ケースに貼着するケース用バーコード部と、商品に付される値札用バーコード部とを有するとともに、両者の間に切断線(例えば、ミシン目)を設けている。更に、剥離紙は上記切断線に対応する位置及び値札用バーコード部の端部に対応する位置に切り込み線を設けている。

【0010】かかる構成により、値札部の両端部は商品収納ケースに貼着しているため、容易に剥がれることなく、さらに、剥離紙は2つの切り込み線により3つの部位に分割されているため、剥離紙を利用することで値札用バーコード部をケース用バーコード部から容易に切り取ることができる。

【0011】ケース用バーコード部と値札用バーコード部には、同一のバーコードデータを印刷することが好ましい。両者に同一のバーコードデータを印刷することで商品収納ケース及び商品の値札のそれぞれに同一のバーコードを付すことができ、商品管理上都合が良い。

【0012】

【発明の実施の形態】本実施の形態について、図1を参照しながら説明する。同図(A)はバーコードラベルの表面図、同図(B)はバーコードラベルの裏面図である。バーコードラベル1はミシン目13を境にケース用バーコード部11と値札用バーコード部12に分割可能に構成されている。ケース用バーコード部11と値札用バーコード部12のそれぞれの表面には、商品(例えば、靴)の品番、値段、サイズ、種類、色等の管理情報がバーコード形式で印刷されており、裏面は粘着層を介して剥離紙2に貼着している。ケース用バーコード部11に印刷されているバーコードデータと値札用バーコード部12に印刷されているバーコードデータは同一である。

【0013】剥離紙2には予め切り目26、27が形成されており、剥離部23、24及び25に分割されている。切り目26はミシン目13に対応した位置に形成されており、切り目27は値札用バーコード部12の端部に形成される。即ち、ケース用バーコード部11に貼着している剥離紙2は剥離部23のみから構成され、値札用バーコード部12が貼着している剥離紙2は剥離部24、25から構成されている。剥離部23、24とバーコードラベル1の間には商品収納ケース等の被着体に貼りついたまま永続的に利用される永久接着タイプの粘着剤が塗布されている。かかる粘着剤としては、ゴム系、アクリル系、ビニルエーテル系等のエマルジョン、溶剤又は無溶剤型の各種粘着剤が使用される。一方、剥離部25とバーコードラベル1の間には、再剥離性粘着剤が塗布されている。再剥離性粘着剤としては、エポキシ基やイソシアネート基を有する架橋剤を用い、ベースとなる粘着剤のカルボキシル基や水酸基と架橋反応させることで所望の接着力にコントロールし、再剥離性を得ている。

【0014】本発明のバーコードラベル1を商品収納ケース3に貼り付ける際には以下の手順で行う。まず、剥離部23をバーコードラベル1から剥離し、ケース用バーコード部11を商品収納ケース3に貼り付ける。次に、剥離部25をバーコードラベル1から剥離し、値札用バーコード部12の端部を商品収納ケース3に貼り付

ける。このときの状態図を同図(C)に示す。値札用バーコード部12を値札41に貼り付けるときには、剥離部24を摘んで値札用バーコード部12を商品収納ケース3から剥がすとともに、ミシン目13を境に値札用バーコード部12をケース用バーコード部11から切り取る。このとき、値札用バーコード部12が商品収納ケース3に貼着している部分(値札用バーコード部12の端部)には再剥離性粘着剤が塗布されているため、値札用バーコード部12を商品収納ケース3から剥がし易く構成されている。そして、剥離部24を値札用バーコード部12から剥離して値札用バーコード部12を値札41に貼り付ける。値札用バーコード部12を商品収納ケース3から剥がし易くするため、剥離部25の幅は剥離部24の幅よりも短い方が好ましい。

【0015】このように、本実施の形態によれば、バーコードラベル1を商品収納ケース3に貼り付けたときに、値札用バーコード部12の両端部が商品収納ケース3に貼り付けた状態となっているため、安易に値札用バーコード部12が剥がれてしまうことを防止できる。また、剥離部24が値札用バーコード部12に貼着しているため、値札用バーコード部12をケース用バーコード部11から切り取る際に便利である。

【0016】また、本発明のバーコードラベルを用いれば、同一のバーコードを商品収納ケース及び値札の両方に確実に付することができ、しかも、在庫管理の最中に値札用バーコード部が剥がれて紛失してしまう虞がなく、バーコードラベルの管理負担を軽減できる。この結果、商品管理が容易になり、作業効率を向上させることができる。

【0017】

【発明の効果】本発明によれば、商品収納ケースと商品の値札のそれぞれにバーコードを付す場合において、値札用バーコード部が他の商品収納ケースとの接触等により容易に剥がれることなく、且つ、値札用バーコード部を値札に貼り付ける際に簡単に剥がすことのできるバーコードラベルを提供することができる。

【図面の簡単な説明】

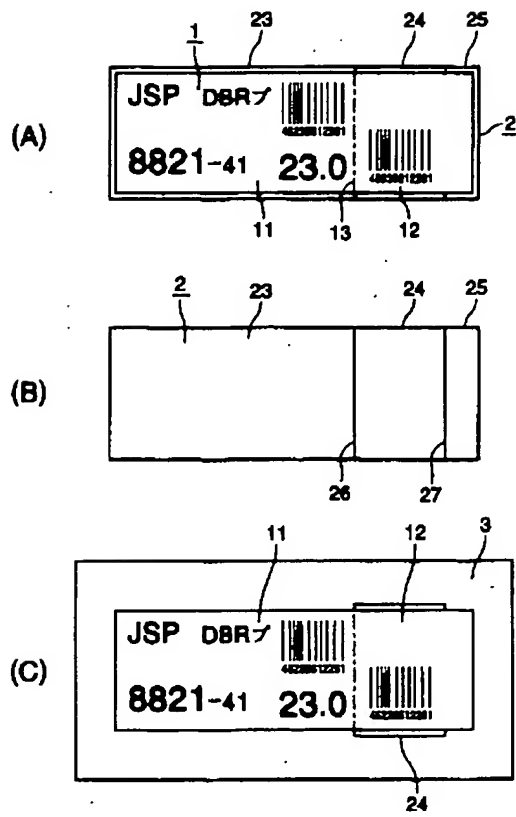
【図1】本発明のバーコードラベルの説明図である。

【図2】従来のバーコードラベルの説明図である。

【符号の説明】

1…バーコードラベル、2…剥離紙、3…商品収納ケース、4…商品、11…ケース用バーコード部、12…値札用バーコード部、13…ミシン目、21～25…剥離部、41…値札

【図1】



【図2】

